

(様式2)

## 「京丹後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案」の概要

### 1 趣旨

2020年10月、日本政府は、2050年カーボンニュートラルを宣言。2021年4月には、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指すこと、さらに、50%の高みに向け挑戦を続けることを表明し、同年10月に地球温暖化対策計画を改定しました。

本市では、この様な国の動向を踏まえ、2020年12月に2050年ゼロカーボンシティを宣言し、その実現に向けた取組の道筋を示すものとして脱炭素ロードマップを策定しています。

この地球温暖化対策実行計画は、脱炭素社会を実現するために現行の実行計画を、引き続き市民・事業者・公共を含む市全体で温室効果ガスの排出量削減に取組む行動指針を示すものとして改定するものです。

### 2 構成

#### (1) 計画策定の背景

気候変動の現状

#### (2) 計画の基本的事項

計画の目的／位置づけ／体系／期間／骨子／温室効果ガスの種類及び部門

#### (3) 温室効果ガス排出量の現状

総排出量／部門別二酸化炭素排出量／エネルギー消費量／再生可能エネルギーの現状

#### (4) 温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス削減目標設定の考えた及び削減目標／2030年度の部門別排出量目標

#### (5) 温室効果ガス削減目標の達成に向けた取組（緩和策）

各部門における省エネの取組／再生可能エネルギーに関する取組／置換え・その他

#### (6) 気候変動の影響による被害の防止・軽減に向けた取組（適応策）

適応策の意義と必要性／取組の方向性

#### (7) 計画の推進に向けて

計画の推進体制／計画の進行管理

別冊：資料編

別冊：京丹後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版

### 3 策定期日

令和6年4月中の策定を予定しています。

### 4 その他

この京丹後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、改定にあたり京丹後市脱炭素ロードマップの内容及び京丹後市再生可能エネルギーゾーニングの結果を反映したものとなっています。